

11月20日に実施した市内一斉防災訓練。その振り返りとして、各小学校ごとの取り組みの様子を紹介するとともに、各小学校の会場責任者のみなさんにコメントをいただきましたので、ご紹介します。

## 北小学校

長湫地区北部 たかの こうじ 高野 晃二 会長  
自治会連合会

北小学校区では、参加者が年々減少しています。しかし、ここ数年の地震発生状況や南海トラフ地震等の予測から長久手市も決してよそ事ではないと考えます。防災に対する「危機意識」や「必要性」の受け止め方に少し疑問を抱いています。14団体のご協力のもと訓練を実施し、いくつか課題をいただきました。今後、訓練のあり方について地域と行政が一丸となって防災意識の向上を目指す必要があると思います。

消防団による  
初期消火訓練



愛知中部水道企業団  
による給水訓練



長久手市応急救護ボランティア  
による心肺蘇生訓練



## 南小学校

南小学校区 なかむら としお 中村 利男 会長  
自治会連合会

今年は南小学校区自治会連合会で災害時安心・安全プレートを作成し、各自治会世帯数2,200枚を配布し、一時避難場所の確認、黄色いタオルを使った安否確認、最寄りのAED設置場所の確認を行いました。訓練では、アレルギー対応の炊き出し、土のう作り、健康チェックなどを行いました。また愛知学院大学の学生をはじめとした多くの団体が訓練を運営しました。

ぶちヴェールながくて  
によるアレルギー  
対応炊き出し



## 市が洞小学校

市が洞地区 たかだ きよし 高田 澄 会長  
自治会連合会

本年は住民及び地元企業・団体の参加も多く昨年以上の充実した訓練になりました。特に愛知淑徳大学CCC・愛知医科大学看護学部のブースでは多くの子供たちの災害に対する認識が向上したと考えます。さらに炊き出しブースも多くの方で賑わい、終了1時間前に完食の状況でした。反省点も多く、実際に発災し、避難する際に適した内容をもっと充実しなければと考えます。災害避難時の体験訓練をもっと多く取り入れた内容となるように来年度は検討したいと思います。

愛知淑徳大学  
CCCによる防災  
ワークショップ



ボーイスカウト  
長久手第1団による  
ツイストパン作り



## 長久手市身体障害者福祉協会 副会長 青山 暁子 さん

あおやま あきこ

防災訓練に長久手市身体障害者福祉協会として初めて、単独の車椅子使用で参加しました。受け付けの後、運動場での催しに参加しようとした際にスロープの勾配が急で前進できなく、その場で困っていたとき「お手伝いしましょうか?」と声をかけられました。この勇気のある声かけは普段の心がけからできることだと思います。一日だけの訓練ではなく毎日の実践・心がけが必要だということを学ばせていただきました。

